

「国民の声」おかしなルールの見直しに関する提案受付結果について

(規制・制度改革集中受付期間(9/10～10/14))

平成22年11月9日
行政刷新会議事務局
国民の声担当室

1. 受付状況

受付件数 11,714件(注)

()提案内容が重複するものについても、受け付けた提案毎に1件としてカウント

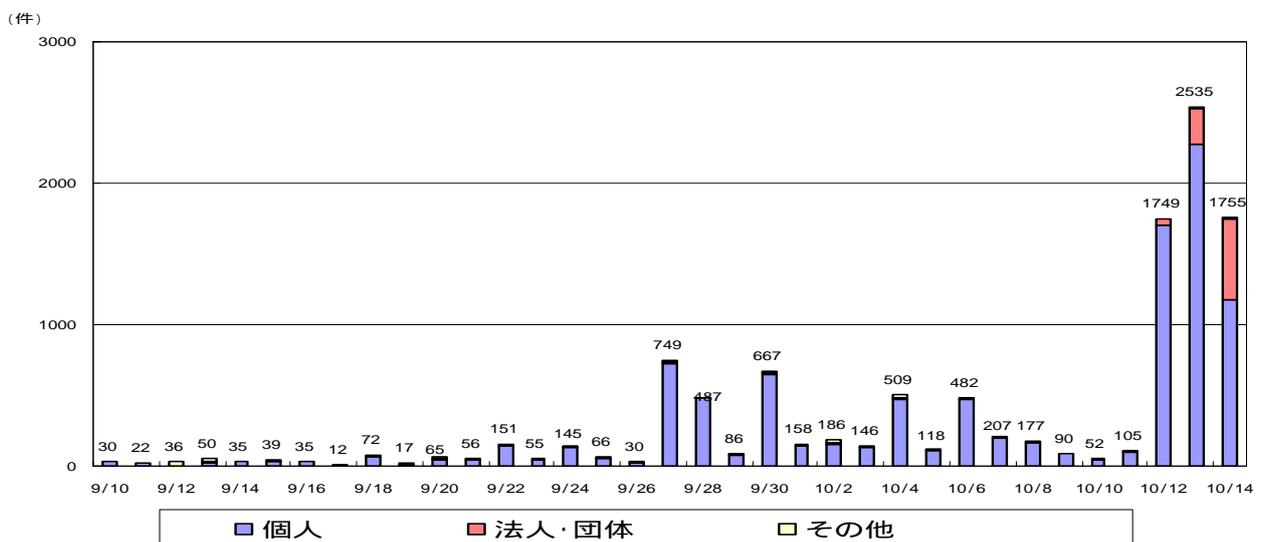
投稿手段別

インターネット 3,479件(31%) 郵送 7,695件(69%)

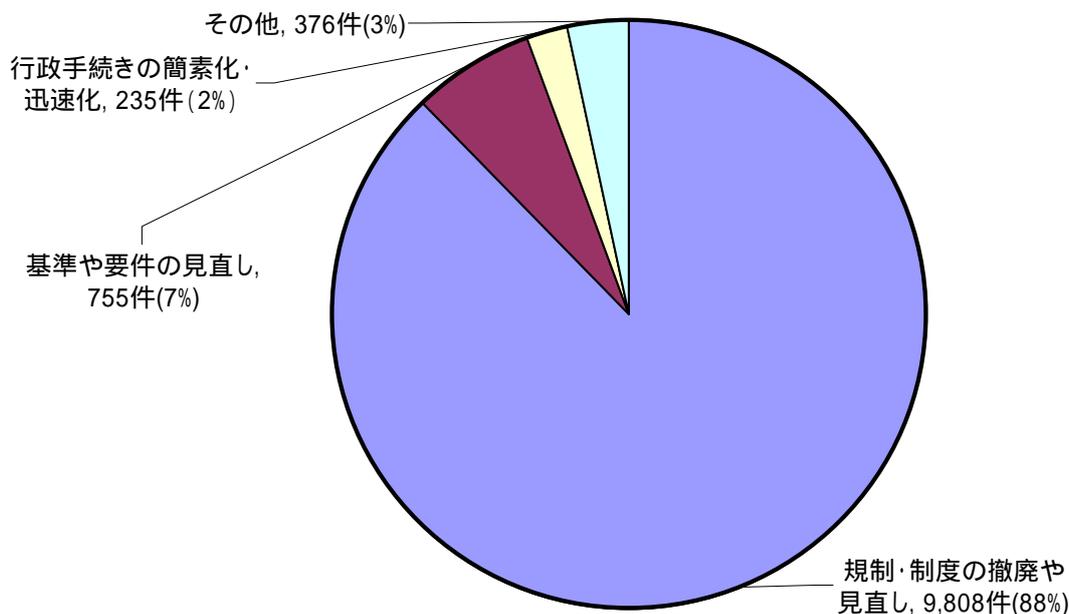
提案主体別分類

個人 9,896件(88%) 法人・団体 1,064件(10%) その他 214件(2%)

2. 提案受付数の推移



3. 提案内容別分類



() 各提案の分類は提案者の判断によるもの

(注)うち、8,180件が医薬品の通販規制の撤廃を求めるもの

4. 提案の事例

< 1 グリーンイノベーション >

- ・水素ステーションの設置に係る申請・許認可手続きの簡素化(申請書類の効率化と簡素化)
- ・太陽光発電買取制度の条件緩和(住宅と物理的・電氣的に接続されていない場所に設置した太陽光発電システムも対象に)
- ・ガス事業により農地を転用する場合の農地法の適用除外
- ・浄化槽法定検査の見直しについて
- ・廃棄物処理法の広域認定制度の見直し(他社製品の回収実現や対象品目の拡大)
- ・工場立地法に関する規制緩和(樹木の種類・本数の届出免除)
- ・構造計算適合性判定の対象範囲の緩和(低層小規模建築物(3階建住宅)の除外)
- ・再開発を促進するための借地借家法における正当事由制度の見直し
- ・路上パーキングスペースにおけるカーシェアリングステーションの設置に向けた条件整備
- ・車検制度の見直し(車検期間の延長)
- ・森林情報の整備に向けた測量・実地調査等の推進のための環境整備

< 2 ライフイノベーション >

- ・一般用医薬品のインターネット等販売規制の緩和
- ・対面診療(医師法第20条)のさらなる規制緩和
- ・ジェネリック医薬品利用の義務付け
- ・医療機器分野における「デバイスラグ」の解消(医療機器の承認プロセス短縮)
- ・処方せんの電子化と制度運用の可能化
- ・新規病院の開設規制の見直し
- ・不妊治療等への保険適用
- ・柔道整復師における療養費委任制度の見直し
- ・介護保険の訪問介護における身体介護と生活援助の一本化
- ・介護サービスの情報公開制度の見直し(コストはかかるが利用されていない)

(注) 上記項目はあくまで受け付けた提案の事例の紹介であり、国民の声担当室として重点的に取り組むものとは限らない。

< 3 アジア経済戦略 >

- ・リターンブルパレット(何回も使える区切り資材)の輸出入手続きの簡素化
- ・国際標準規格コンテナ(45フィートコンテナなど)の国内輸送のための環境整備(許可基準の整備)
- ・物流効率化のための内航船の航行区域拡大の検討
- ・特定原産地証明制度の改善(即日発給、手数料減免、電子化)
- ・ビジネスジェットの利用促進に向けた基盤整備(専用の発着枠・CIQ手続きの整備等)
- ・経済活動のグローバル化に対応するための独占禁止法第9条(一般集中規制)の廃止

< 4 観光立国・地域活性化戦略 >

- ・産業遺産の世界遺産登録に係わる運用の見直し
- ・アーケードに添架する装飾等の規制緩和
- ・高速バスに係る申請手続きの緩和(ツアーバスとの競争条件の整備)
- ・ナチュラルチーズの賞味期限の規制の見直し(賞味期限の延長)
- ・中小企業信用保険制度の対象業種の追加(農業、林業、漁業)

< 5 科学・技術・情報通信戦略 >

- ・ワンセグ放送用無線局免許について、コンテンツの充実に向けた商業利用への認可
- ・モバイルWiMAX移動局の技術条件の緩和
- ・デジタル教科書を前提とした仕組みの構築

< 6 雇用・人材戦略 >

- ・幼稚園・保育所の一元化制度創設
- ・株式会社による保育所設置条件の緩和(会計手続きの簡素化)
- ・理容師・美容師資格者の同一施設内での混在勤務を認めない規制の緩和
- ・ハローワークにおける求人募集のあり方を見直し(ミスマッチ防止のための条件表示を可能に)

< 7 金融戦略 >

- ・改正貸金業法の総量規制の見直し
- ・大量保有報告書提出義務の見直し(株式分割など発行者側の都合による取得の場合の義務免除)
- ・FXのレバレッジ規制の見直し
- ・銀行等の生命保険窓販に係る弊害防止措置の厳格な実施
(銀行による顧客の預金口座情報を利用した生命保険販売の禁止の徹底)

(注)上記項目はあくまで受け付けた提案の事例の紹介であり、国民の声担当室として重点的に取り組むものとは限らない。